



山形に避難されている方へ伝えたいメッセージ

CONTENTS

- ・一面 「ひなん女子会」に至るまで in 鶴岡
- ・福島県 がんばるママを応援! @ home ママーズ in 郡山
- ・宮城県 高校生がつくる、いしのまきカフェ「」(かぎかつこ)
- ・山形県 マクロビオティック講習/子どもの未来を守る家
- ・ママチャレンジショップ隊 ・今月のキーワード 「山形の土壌調査」
- ・みんなの声 ・おすすめ情報 ・ひと休み
- ・しあわせココロのつくりかた® ・編集部より

第38号

つながろう! ささえあおう!
復興支援プロジェクトやまがた
TEL 023-674-7311
E-mail kizuna@yamagata1.jp
発行数: 4,000部

「ひなん女子会」に至るまで



村山・置賜地方に比べ、避難者数は少ないものの、岩手・宮城・福島から避難者が滞在している庄内地方。

昨年度初めから、「同じように避難しているお母さん同士で話してみたい」という声が聞かれ、平成24年8月に初のママだけの交流会「ひなんママの集い in 鶴岡」を開催しました。

そして、今年度は名前を「ひなん女子会」と改め、「震災後、さまざまな事情



で鶴岡に避難・移動してきた女性どうしでゆっくりお話ししてみませんか?」と広く呼びかけました。ママではない方も参加することで、さらに情報交換ができたり、世代が違っても共有できる避難者ならではの思いがあったりして、終了時間が来ても、なかなか話が途切れないほど盛り上がりました。

「ひなん女子会」は、前半はレクリエー

ションタイム、後半が茶話会という構成で、平日開催と週末開催を1ヶ月ごとに行っています。

第一回は平日開催で、前半はパステルアート体験、第二回は週末開催で前半はカウンセラーの志村友理さんをお迎えして「しあわせココロのつくり方」のお話を聞きました。

茶話会のお菓子も、第一回は「庄内の花見だんご」、第二回は「鶴岡の笹巻」を食べながらとなりました。

春先で被災地に戻ったり転動で移動したりと確実に避難者総数は減ったものの、「ひなん女子会」は昨年の「ひなんママの集い」とほぼ変わらない出席者数で、逆に宮城県からの避難者の方の参加が増えたのも特徴的です。

アンケートの要望をヒントに第三回は前半にメイクアップレッスンを楽しむ予定です。今後も庄内地方(庄内のスイーツ?)に親しみつつ、「たまに避難者モードでおしゃべりできる場」として皆様にご参加いただければと願っております。

鶴岡市社会福祉協議会生活支援相談員

志賀 恭子



復興ボランティアセンターやまがた



Twitter



@fukkou_center



http://www.facebook.com/fvsc.yamagata

山形県に避難しているすべての方へ

つながろう NET

http://tsunagarou.net/

「うえるかむ」に掲載された今までの記事のすべてと、リアルタイムなおすすめ情報、イベントカレンダー、うえるかむスタッフや支援グループのブログなどを掲載しています。ぜひご覧ください!



モバイル、スマホOK!



南相馬親睦会のお知らせ



7月にさくらんぼ狩り。9月に芋煮会。11月に温泉親睦会を構想中です。バスをチャーターし高齢者も集える交流会にしたいと考えていますが、山形県内に誰がお住まいなのか判りません。最初は、お電話や口伝えでの広報になるでしょう。(親睦会の内容は、出来るかぎり南相馬市の方の希望に添いたいと思います。)親睦会に参加を希望する方は、連絡先をお知らせください。おって詳細をご案内します。

☆7月6日(土) 上市市にて「さくらんぼ狩り」と「こんにやく懐石」を楽しみます。定員40名。参加費 1800円(予定)。米沢市方面・山形市近辺の方はバスによる送迎を予定。鶴岡市、酒田市から相乗りで参加される方には、交通費を一部負担する予定です。バスのコース、集合時間は申込状況により変わります。まずは、お問い合わせください。

■お問い合わせ先 遠藤、武沢、高野
TEL 090-6626-4794 日、火、水、土曜日

From 福島

がんばるママを応援! @homeママーズin郡山

福島県郡山市の「麓山の杜」で、5月29日に「@homeママーズ」が開かれました。@homeママーズ「ヨガ&お茶会」が開かれました。@homeママーズは、県内外で避難生活をしているママ、そして避難ママと帰還ママの交流の場として、同じ気持ちのママ達が集まるコミュニティです。

今回のイベントには、福島市や二本松市からの帰還ママもかけつけ、久しぶりの再会を喜びました。ヨガで気持ちいい汗を流してリフレッシュ。まずはヨガを体験したママ達は「気持ちまですっきりしたあ」と満足の笑顔。その後、カフェでゆっくりまったり、お茶を飲みながらおしゃべりを楽しみました。

@homeママーズ郡山のリーダーを務めている高田利江さんは「このイベントを通して山形で別れを惜しんだお友達親子に再会できて嬉しかったです。帰福してみると、山形では会えていた友達に福島ではなかなか会える機会がないことに気付きました。イベントをすることでお友達同士が再会できるきっかけが作れたらいいなあ。これからも開催にむけていろいろ企画していきたいです」と語ってくれました。

(榊井)



From 宮城

高校生がつくる、 いしのまきカフェ

「かきっこ」



いしのまきカフェ「かきっこ」。地元の高

校生たちが主体的に企画し、学校が休みの土日祝にカフェの営業やワークショップ、会議を行う場となっています。石巻市は被災の影響で経済情勢が厳しく、進学・就職などで、若者の市外流出がますます進むと予想されます。彼らが地元との繋がりを持つて社会に巣立って行くよう、地元と交流しながらカフェづくり・営業・運営を行うことで、近い将来このカフェが石巻の未来を担う人材の輩出基地となることを目指しているそうです。店内は、老若男女が親しめるよう、温かみのある木を使い、くつろげる雰囲気。入り口やメニュー看板には黒板を使い高校生らしさを演出。メニューは、地元で買い付けた野菜やくだもの、地元の水産企業の協力で生まれた商品などを使い、手作りしています。地元の人たちや、応援したいと訪ねてくるお客様でにぎわうカフェ。石巻市役所のビルの中にありますので、ぜひ訪ねてみてくださいね。(石山)

宮城県石巻市穀町 14-1 エスタ石巻内(市役所 1F)

[電話] 0225-23-9371

[営業時間] 土日祝 12:00~16:00

シアワセコラム

しあわせココロのつくりかた ⑩

カウンセラー・スピリチュアルケアアドバイザー 志村友理

些細なことにも目くじらを立てて怒っていませんか？ 不幸な気分になると、余計にイヤなことばかり反応し、ピリピリしてしまうものです。それでは、どんなに幸せになりたいと思っても、幸福は遠のいてしまいます。

だって、どんな人だって笑顔が美しい人に惹かれますし、優しい人が大好きなのですから。

私には出来ないって決め付けていると、いつまで経っても幸せは巡ってきませんよ。

人に好かれる人は、なんでも出来る完璧な人ではありません。ただ、自分の優しさに素直なだけ。まずは自分の優しさを再認識してみましょう。

そして、その優しさを見つけたら、照れずに表に現してみよう。



マクロビオティック講習

5月29日(水)、江南公民館にて「りとる福島」と「子どもの未来を守る会やまがた」の共同企画「マクロビオティック手当て法第一弾」が開催されました。

講師は、マクロビオティック望診診断士の佐藤あづささん。参加者は放射能対策・春のデトックスについて学びました。

「震災後、保護者達は子どものちょっとした不調に敏感になっていると思います。私は、放射能対策には食生活を変えて免疫力を上げる事が大事だと考えています。子どもたちを守るために食の大切さ、手当てなどを伝えたい。」とお話ししていました。佐藤さんは、実際に葉に頼らない生活を送っているそうです。

講座の後は、マクロビオティックの基本食である玄米と味噌汁、そしてデザートにはわらび餅を、よく噛みながら味わって食べました。よく噛む事もマクロビオティックの基本です。

参加者は、「以前から食生活が気になっていたのですが、今回参加できて良かった。少しずつ実践していきたいし今後も参加したい」と話していました。

次のマクロビオティックの講座予定は7月に開催予定です。詳しくはおすすり情報をご覧ください。



●食事相談・お問合せ

子どもの未来を守る会やまがた 佐藤あづさ
TEL: 090-6022-4581
E-mail: kodomo_mirai_yamagata@yahoo.co.jp
WEB: http://natural-yamagata.jimdo.com/

子どもの未来を守る家

「フクシマ 被曝にさらされた地域」の
母子のお手伝いをしたい

2011年6月頃、鶴岡での自宅をすぐに「避難先」として登録。「我が家に滞在できる家族だけでなく数家族受け入れてあげたい」という思いから、夏休み期間の「母子の疎開」を、地元友人・知人の力を借りて取り組むことになりました。

宮城県、福島県、指定区域の方、指定区域外の方でも、放射線量を不安に思うご家族ならいつでも来れる「家」が鶴岡にあります！成長期にある子どもは体内に放射性物質を取り込んだとしても、汚染されていない所に、一時的であっても「疎開」し「保養」すれば、蓄積をストップさせることができます。そして、戸外で思いきり体を動かして、のびのび遊び、声を出して笑う生活は、免疫を高め病気に負けない強い身体と心を作ります。

「放射能から子どもを守りたい」「子どもを外で遊ばせたい」「親子共々リフレッシュしたい」と願うお母さんをお父さん、いつでもご連絡下さい。サポーター一同「守る家」を維持・管理しながらお待ちしております。一緒に「子どもの未来」を守るため、手をつなぎましょう！



*利用料(シーツクリーニング代、等)
一家族500円/一日
一日一回のご利用につき1~3泊まで可。
(交通費・食費・医療費などは自己負担となります)
[詳しいお問合せ・お申込み]
TEL: 080-6023-7490 (高橋裕子)
携帯電話メール: mt.chokai1956@ezweb.ne.jp
パソコンメール: yuko_kaiousei1956@yahoo.co.jp

ママチャレンジショップ隊

「ふくしま子ども未来ひろば」が移転して初めてのイベントになります！ぜひ遊びにいらして下さい。

日時: 7月1日(月)
場所: ふくしま子ども未来ひろば(山形市木の実町8-3 日本興亜損保保険(株) 4F)
対象: 震災で避難して来られた方



○ジェルネイル(予約制)

指先のおしゃれを手頃に楽しんでもらおうと常に技術を磨いています。ホッと出来る癒しの時間になるはず、初めての方でも安心です。

☆料金: 2000円

☆単色 or ラメグラデーション
10本+アート1本

10:00~11:30 11:30~13:00

[予約・問合せ] 080-8202-5456 (菱川)

○ワークショップ

手作りのあたたかさを伝えながら、生活の中で自分の時間を楽しんでもらうお手伝いが出ればと思っています。

パステル和アート/ポストカード作り/ポストカードの販売/羊毛クラフト/コースター作り(各コーナー別料金)

☆羊毛作品の展示販売

[問合せ] 090-2996-2245 (佐藤)

○ハンドメイドショップ

ビーズアクセサリー、布小物、かぎ編み小物の出店もあります。お気に入りを手にとって、ゆっくりご覧ください。

※1歳以上のお子さまは、無料託児をご利用できます。ご予約時にお申し込み下さい。

※駐車場に関しては、ふくしま子ども未来ひろばにお問い合わせをお願いします。

(TEL 023-600-7167)

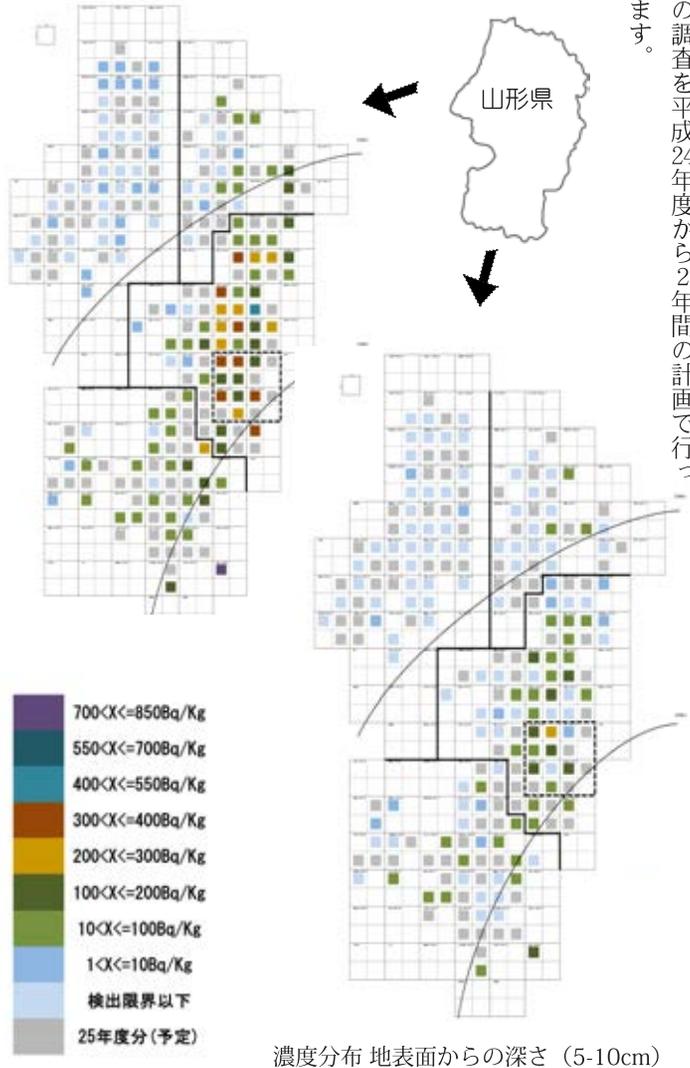
今月のキーワード
山形の土壤調査

山形大学・山形県による
土壤環境放射性物質の共同調査

寄稿 山形大学企画部
プロジェクト教員(教授)
櫻井敬久

福島第一原発事故に伴う県内における放射性物質の沈着状況を早い時期に測定し、基礎データとして記録しておくことは、今後の放射線環境の推移や自然環境の変化を知る上で大事なことです。そのため、山形大学ではプロジェクトチームを作り、山形県と共同で土壤中の放射性物質の分布状況の調査を平成24年度から2年間の計画で行っています。

山形県における土壤中放射性セシウム (Cs134+Cs137) 濃度分布 地表面からの深さ (0-5cm)



濃度分布 地表面からの深さ (5-10cm)

調査は県内を5キロメッシュに区切り、地表面からの深さ(0~5センチメートル、5~10センチメートル)の二層の土壤をサンプリングし、測定分析を行っています。山形県が土壤サンプリングを担当し、山形大学と山形県が分担し土壤サンプルの測定分析を行っています。平成24年度は、134地点の測定が完了し、その分布状況を中間結果として公表しました。調査結果の詳細については、山形県環境エネルギー部水大気環境課ホームページ「平成24年度公共用水域及び土壌環境放射性物質の調査結果について」で見ることができます。

詳しくはこちらをご覧ください
<http://www.pref.yamagata.jp/ou/kankyoenergy/050014/>

motto
みんなの声

- 今も洗濯物は外に干していません。福島では、放射性物質の降下物が未だ多いです。天気がいい日は外の風にあてたらずぐ乾くの・・と思うけど。家の中に洗濯物がたくさんつる下がってる光景は今では当たり前になってます。(福島市在住)
- 福島に戻ってきてから、初めて娘たちにガラスバッチ(放射線積算線量計)を付けて生活をしています。山形に避難していた頃、帰省した時に付いている子ども達を見て胸が痛みました。そして、帰福し我が子にも…。ガラスバッチで年間の積算量を把握していかねければならない子ども達の生活。普通に見えても、普通じゃない生活がここにはあります。(二本松市在住)
- やっとパートの仕事が見つかった。でも小学生の子ども達を夏休みに預ける学童が見つからない。避難者向け学童支援があったら、情報が欲しいなあ。(二本松市・山形市)避難生活をして、出来るようになった事、逆に出来なくなっ

「みんなの声」に
くづな@yamagata1.jp
に、タイトル「みんなの声」
で送信してください。以前
と今のお住まいの市町村も
添えてね。

モバイル、スマホOK!

た事がたくさんあります。外遊びが大好きな子供達の姿を見ると、大変だけれど、今の生活を続けたいなあと思えます。出来なくなってしまう事を悔やまずに、出来る事をひとつでも増やしていきたいような生活をしていきたいです。(郡山市・山形市)

来年の春、長女が小学校入学です。福島へ帰って入学するか、このまま山形で入学するか：悩んでいます。(福島市・山形市)



おすすめ情報

[村山地区]

■やまがた農業体験（震災被災者）バスツアー参加者募集
避難されている方々や山形県の農業者等との交流を求めておられるあなた、是非ご参加ください。山形の味も楽しめます！
日時：6月29日（土） 8:30 山形県村山総合支庁出発
16:30 同所解散

参加経費：1,000円（昼食、保険料）
募集対象者：県内に避難されている方等
募集人数：20名（避難されている方を優先します。）
内容：◆農業体験（白鷹町）、こんにゃくいもの植え付け体験
◆ワイワイガヤガヤ交流会、一緒につくろう山形の味
◆直売所視察、どりのむ農園直売所（白鷹町）
申し込み：6月26日（水）まで、お電話でご連絡ください。

[問合せ]

（公財）やまがた農業支援センター
TEL：023-641-1117



■マクロビオティック手当て法講座

7月の講座 7月18日（木）参加費700円
※7月8日〆切

内容：「夏のマクロビごはん＆スイーツ」
時間：受付9時50分 開始10時～14時
場所：江南公民館（山形市江南一丁目1番27号）
講師：佐藤あづさ（マクロビオティック望診診断士）
託児：あり（先着10名）

[申込み] kodomo_mirai_yamagata@yahoo.co.jp
☆申し込みメールの件名に「〇月〇日マクロビ講座参加希望」と明記してお申し込みください。

■ドキュメンタリー映画

「犬と猫と人間と - 2 動物たちの大震災」

東日本大震災で変わり果てたふるさとに戸惑いながらも懸命に生きる動物たちと、彼らを救おうと奮闘する人々に迫る。監督は宮城県名取市出身の宍戸大裕。

上映時間：7月20日（土）～7月26日（金）
上映時間：9：50 / 18：50（1日2回）
場所：フォーラム山形（山形市香澄町28-1）
料金：一般1,700円、大高生1,400円、小中シニア1,000円
※通常のフォーラム割引サービスも適用となります。

※初日の9：50の回上映後に宍戸監督の
舞台挨拶があります。

主催：野良猫クラブ TEL：023-631-1281



■山形の弁護士さんと話そう

ママのためのお話し会&個別相談会 in ふくしま子ども未来ひろば
日時：7月4日（木）

AMの部 10:00～お話し会 12:00～ランチタイム
PMの部 13:00～16:00 個別相談
※お話し会・個別相談とも参加費無料
お話し会：定員15名（予約制）
個別相談：定員8組（予約制）

場所：ふくしま子ども未来ひろば（移転しました）
山形市木の実町8-3 日本興亜山形ビル4F
※ランチはひろばでご用意致します（別途500円）。

お話し会のお昼のみご持参ください。

尚、ランチが必要でない方は、予約時にお申し出ください。

★お話し会・個別相談とも事前のご予約が必要です。定員制ですので早めにご予約ください。

★駐車場については予約時にお問合せ下さい。

★託児が必要な方は、お客様の年齢と人数をお知らせください。
託児希望が多数の場合は、お受けできない場合もあります。

[申込み・問合せ] 原子力損害賠償支援機構

TEL：0120-330-540（受付時間：年中無休9:00～17:00）

[置賜地区]

■第3回 東日本大震災チャリティーコンサート♪

～希望に向かって～

日時：7月6日（土）開場13:00 開演13:30

場所：浜田広介記念館 ひろすけホール

入場料：無料※当日、会場内に募金箱を置かせていただきます。

【お問合せ】090-8254-5104（遠藤）

～出演者～

・HAPPY 愛 LANDS（福島避難者合唱）

・高島町少年少女合唱団『エーデルワイス』ほか

※特別出演 米沢市社会福祉協議会 生活支援相談員さま

主催：「希望に向かって」コンサート実行委員会



[庄内地区]

■「悠々の杜 親子ディーキャンプ」！参加者募集！

間伐した杉で作る木こりのろうそくは、ダイナミックかつ幻想的です。間伐した竹で、うぐいす笛・竹とんぼ・竹馬・流しそうめんを作り、野外での食事会を行います。

日時：7月13日（土）13:30～20:00

集合場所：悠々の杜・アイアイひらた 駐車場

参加料：大人1,000円、小学生以下500円（食事代・他）

定員：先着30名

申込み：NPO法人ひらた里山の会（佐藤）

TEL：0234-52-3046



うるかむは各地で設置しています

【山形市】復興ボランティア支援センターやまがた/村山総合支庁/山形県庁1Fロビー/山形市内の公民館・コミュニティセンター（28施設）/山形県立博物館/山形市避難者交流支援センター/山形市総合福祉センター/山形テルサ1F/百目鬼温泉/真宗大谷派山形協会/立石寺華蔵院/ままカフェ@home/福山ひろば/ふくしま子ども未来ひろば/あいびい保育園/りとのる福島事務局/山形市市民活動支援センター/チェリア/イオン山形南店/生活協同組合共立社（CO-OP）（山形県内）/ひまわりマッサージ【天童市】天童市避難者サロン・AtTendoひろば【寒河江市】寒河江市社会福祉協議会/フローラ寒河江1F避難者交流ひろば/村山総合支庁西庁舎/寒河江市立図書館/寒河江郵便局/ゆ〜チェリー【上山市】上山市社会福祉協議会/上山市まちづくりセンター「ござってえ」/長屋門ギャラリー【東根市】東根市タントクルセンター【村山市】甌葉プラザ【米沢市】置賜総合支庁/避難者支援センター/米沢市社会福祉協議会/米沢市すこやかセンター/アクティビティ米沢/米沢市立児童会館/ハラク書店/鷹山の湯/おいたまサロン・ふわっと/moto808【南陽市】南陽市社会福祉協議会【飯豊町】道の駅いでめざみの里親光物産館【高島町】高島町役場1F/浜田広介記念館/永和軒【川西町】おきたまネットワークサポートセンター/おもいで館【鶴岡市】鶴岡市立図書館/フクシマの子どもの未来を守る家【酒田市】酒田市ボランティアセンター/酒田市公益活動支援センター/NPO法人にこっと【庄内町】庄内町社会福祉協議会【三川町】庄内総合支庁/イオンシネマ三川【新庄市】最上総合支庁【金山町】山形県遊学の森「木もれび館」【福島県】元気玉プロジェクト推進本部/うつくしまNPOネットワーク/NPO法人福島ライフアイド/NPO法人シャローム/子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク【宮城県】東北自動車道管生PA上下/東北ろっけんパーク【秋田県】道の駅せんなん

ひと休み

子どもといっしょにクッキング たのしい米粉クッキー

<材料> 約 14 枚分

- A. 米粉 150g
(グルテンの入っているもの)
重曹 小さじ 1/4
ベーキングパウダー
小さじ 1 と 1/4
- 卵 1ヶ
砂糖 90g
バター 80g
牛乳 適宜
卵の黄身 1ヶ分
アーモンドエッセンス 適宜

<作り方>

- ① バターは室温で柔らかくしてから、泡立て器でクリーム状になるまで混ぜて、砂糖、卵、アーモンドエッセンスを加えてさらに柔らかくする。
- ② Aの粉を①の加えてよく混ぜ合わせ、こねてクッキー種を作る。
- ③ ②を大さじ 1 杯分ぐらいの量でクッキーの形にし、上にアーモンドをのせ、卵黄と牛乳を混ぜて作ったタレをハケで上から塗る。
- ④ ③を 180℃のオーブンで約 8 分焼く。



レシピ提供：
在来作物案内人 鈴木淳子さん

ホールボディカウンター (WBC) による内部被ばく検査のご案内



福島県では、山形県へ避難されている方を対象として、車載式WBCによる検査を以下のとおりに実施します。検査を希望される方は、下記の内容を確認のうえ、福島県へお申し込みください。



検査場所及び日時

- 1) 米沢市すこやかセンター 体力測定室
(米沢市西大通 1 丁目 5-6 0)
平成 25 年 6 月 21 日 (金) ~ 6 月 24 日 (月)
平成 25 年 6 月 28 日 (金) ~ 7 月 1 日 (月)
平成 25 年 7 月 5 日 (金) ~ 7 月 8 日 (月)
 - 2) 山形市あこや会館
(山形市松波 2 丁目 8-1)
平成 25 年 7 月 12 日 (金) ~ 7 月 15 日 (月・祝)
平成 25 年 7 月 18 日 (木) ~ 7 月 22 日 (月)
平成 25 年 7 月 25 日 (木) ~ 7 月 29 日 (月)
 - 3) 鶴岡市総合保健福祉センター にこふる
(鶴岡市泉町 5-3 0)
平成 25 年 8 月 2 日 (金) ~ 8 月 5 日 (月)
- ※受検期間は、原則 9 時 30 分 ~ 16 時 30 分
ただし、8 月 2 日のみ、14 時 00 分 ~ 16 時 30 分

対象者

東京電力福島第一原子力発電所での事故発生当時に福島県内に居住し、その後、山形県内に避難している方 (検査当日 4 歳以上の方)

検査当日の流れ

(受付 ~ 検査終了まで 30 分程度を予定)
受付 → 同意書記入 → 検査内容説明 → 体表面検査 → WBC 検査

検査費用

無料 (検査会場までの交通費は、各自負担)

検査結果の通知について

後日郵送 (同意書記載の住所宛) にてお知らせ

検査結果の保管及び同意書の提出について

検査結果は、個人情報に配慮した上で、名前がわかることがないようにして、検査結果を公表する事があります。また、福島県で保管するとともに、県民健康管理調査の委託先である福島県立医科大学にも提供します。

検査時の服装について

検査は検査着で行ないます。検査着は会場で用意しております。着替えやすい服装でお越し下さい。

検査内容

放射性セシウムなど体内にある放射性物質を測定し、おおむね一生の間に受けると思われる線量を推計する検査です。

【検査申込み先】福島県県民健康管理課

TEL (1) 080-5743-5867

(2) 080-5743-5868

受付期間 9:00~17:00

(土曜日、日曜日、祝祭日を除く)

※申込みは 6 月 3 日から開始し、検査日の 5 日前 (土、日、祝祭日を除く) までにお願いたします。
※検査時間は申込時に調整させていただきます。
※検査人数に限りがあるため、過去に検査を受けていない方を優先させていただく場合がございますのでご理解願います。(1 日定員 70 名程度)

みなさまからの情報をお寄せ下さい!



避難されている方に伝えたいメッセージ、サービス、イベントなど、避難されている方からの声や要望など、みなさまからの情報をお待ちしています。「復興ボランティア支援センターやまがた」まで、ぜひお寄せください!

メールでの情報提供は kizuna@yamagata1.jp

FAXでの情報提供は 023-674-7312



支援センターのサイトをご覧ください → <http://kizuna.yamagata1.jp/>

編集部より

次号は 7 月 17 日発行です

情報提供や寄稿は、
7 月 1 日までに お寄せ下さい。
お待ちしております!

避難者向けフリーペーパー「うるのかむ」

発行元: つながろう! ささえあおう!
復興支援プロジェクトやまがた
〒990-2412 山形県山形市松山三丁目 14 番 69 号
「復興ボランティア支援センターやまがた」
TEL 023-674-7311 FAX 023-674-7312
E-mail kizuna@yamagata1.jp
WEB <http://kizuna.yamagata1.jp/>



- * 最近、自分も磨こうと色々な事に興味を持つようになっています♪ (まき)
- * 新緑の季節♪ いろんな所にお出かけしたい!! でも、週末はお姉ちゃんのスボ少につきっきり。(じゅんちゃん)
- * 今年は今年の風が吹く。個性豊かな活動が各地で生まれていて、つながろうNETのイベントカレンダーは今年もにぎやかです。(海)
- * 若い人の力が地域を創る、その可能性を感じた今回の取材。私も老体に鞭打ちがんばります。(石山)
- * 「今度やろう・・・」は全部自分に返ってくる事を実感するこのごろ「マム」今伝えることは今、今日やることは今日のうちに〜(多)
- * 避難ママから、くまモンの手作りグッズをいただきました。うれしい〜(くまモン)
- * 極度のドライアイで、コンタクト使用がドクターストップに:しばらくメガネ女子です。(なつ)
- * 今月より発送を担当します。よろしくおねがいします!(サチ)